

Title	太田正孝著 改訂増補 国民予算論
Sub Title	
Author	堀江, 帰一
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1925
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.19, No.6 (1925. 6) ,p.941(137)- 943(139)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	新刊紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19250601-0138

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

コンシデランの學說を剽竊せし所か、却て反對にコンシデランの「社會主義原理」に對する反駁者たる感がある』註二十三)と言へるは吾人の容易に首肯し得る所である。

吾人は、チェルケンフ、ラブリオラ、ラムウス等が單に斷片的章句の相似に眩惑せられ、加ふるに不周到不徹底なる考證に禍ひせられて、共産黨宣言を以てコンシデランの「社會主義原理」の剽竊なりと速断せし輕舉を彼等の爲めに悲むものである。彼等無政府主義者——ラブリオラは社會民主主義者であるが、寧ろ無政府主義に傾いてゐる——が一フリエ主義者の著作を借用して故意に其政敵たるマルクス・エンゲルスを毀損し、以て萬一を僥倖せんとするは徒に人に依て事を成すものと言ふ可きである。予はGoethe's Faustの「胸を想起せよ」。

Wenn Ihr's nicht fühlt, Ihr werdet nicht

erfagen,
Wenn es nicht aus der Seele dringt, Und mit
urkräftigen Behagen,

Die Herzen aller Hörer zwingt. (終)

註一 Tschekesoff—Die Urheberschaft des Kommunistischen Manifestes. S. 11-12.

註二 Kautsky—Das Kommunistisch Manifest ein Pagiät. Neue Zeit 24 Jahrg. 2. Bd. 695.

註三 Kautsky—a. a. O., S. 697-698.

註四 Marx—Die Heilige Familie" Aus dem Nachlass von Marx und Engels. 2. Bd. S. 131.

註五 Engels—Die Entwicklung des Sozialismus von der Utopie zur Wissenschaft. S. 21.

註六 Kautsky a. a. O., S. 698.

註七 Marx—Das Elend der Philosophie S. 110.

註八 Marx—Das Kommunistische Manifest. S. 53.

註九 Adler, Georg—Die Anfänge der Marx'schen Sozialtheorie. Festgabe für Wagner. S. 19

註十 Marx—a. a. O., S. 31. 37.

註十一 Marx—a. a. O., S. 25.

註十二 Sulzbach—Die Anfänge der materialistischen Geschichtsauffassung. S. 51

新刊紹介

金融の基礎知識

高橋龜吉著 菊判四一八頁
定價金三圓 東洋經濟新報社發行

改訂國民豫算論

太田正孝著 四六判本文二九五頁
附録七二頁 定價二圓五十錢
報知新聞社發行

金融に關する研究は從來多く銀行論の一部に委ねられて居り、隨つて金融を金融機關の方面から觀測することに重きを置く風であつたが、近時金融を一の經濟現象として、又は經濟的事實として取扱ひ、斯くて之に對する完全なる研究の行はれるに至つたことは經濟學研究の一新風潮として、吾人の喜ぶ所である。

高橋氏の新著亦金融に對する學術的研究の一を以つて、見る可きものである。本書の構造を見るに、先づ金融資金なるもの、性質を明にし、

註二十三 Kautsky—a. a. O., S. 702.
附記 本論文起稿に際し増井幸雄先生は前記コンシデランの原本を御貸與下さつた、ここに厚く先生の御好意を謝する次第である。

金融資金と其需給關係并に信用の職能を説いて金融の依つて行はれる所以を述べ、次いで金融市場に就て略説した後、金融の統制に就て、第六、第七、第八の三章を割いて、詳細に記述してある。思ふに本書の中心を爲し、又讀者に大なる感興を與へるのは、此部分であつて、金融の時に逼追し、時に緩和する所以、此趨勢に對して行はれる統制、從來金に依つて統制されるを常とした金融が他に統制の標準を求めんとするに至れる事情が最も正確に示され、稀れなる例を除き、全編を通じて、何等特種の専門的術語が用ひられず、何人にも理解される日常當用の語を以つて金融の理論と應用とが説明されて居ることは、本當の特色として、推稱すべき所である。

太田博士の著はす「國民豫算論」は大正十二年二月初版發行以來版を重ねること十數次、今回改訂増補されたものが即ち上記の大正十四年版であつて、大正十四年度の豫算に例を取つて、

説明を試みた所に「大正十四年版」の意義が現はれる。從來豫算殊に我國の豫算の不可解であることは、一般の公評であつて、豫算案議定の任に當る貴衆兩院の議員中に於ても、豫算を理解する者は一部少數の所謂財政通に限られて居り、其財政通なる者も豫算面に於ける數字の排列を心得て居るだけであつて、此數の由つて來る經濟財政上の根本的知識に缺ける所なきを得なかつた。斯くて豫算は面倒なる數字として、國民に顧みられざるの嘆なきを得なかつたのであるが、斯の如きは畢竟豫算の數字に生氣を與へるだけの説明がなく、活氣を加へるだけの評論の行はれなかつた結果である。太田博士の「國民豫算論」は上記の點に於て、我國學界の缺陷を充すものであつて、豫算の編成から、其施行を経て、決算に至るまでの一切の科程が日々我國の實際に徴して、平易に説明され、一讀能く豫算の何ものたるやを理解せしめる。第四日本豫算史は明治初年以來最近に至るまで、我國の財

政が如何に發達したかを知るに便利であり、附録として豫算に關する重要法令が網羅されて居る。英國大藏省官吏ヒルトン、ヤング氏纂に「英國々民財政制度」を著して、英國財政の通俗的説明を試みたが、太田博士の國民豫算論は實にヤング氏の著書に比す可きものである。

(堀江歸一)

理財學會記事

△四月二十七日

野村兼太郎教授の歸朝歡迎會を萬來舍洋間に於て開催せり。席上幹事の歡迎の辭、野村教授の劔橋大學生活談、並に氣賀教授の滯歐述懷談等あり、一同歡談に時をうつし、午後九時閉會す。當日出席者左の如し。

野村、氣賀、金原、津田、高木、平井諸教授
和田、濱谷、檜原(三年)野村、奥田、血脇、
小林、寺本(二年)細居、森、久野、有野、塚
本、上月、新川、内田(一年)各幹事。

△五月十三日

理財學會春季大會を午後一時より大講堂に於て左の如きプログラムの下に開催せり。聽講者約四百名にして盛會なりき。

- 一、經濟上より觀たる中世の意義
野村兼太郎氏
- 二、農工商に於ける富の生産に就いて
那須 皓氏
- 三、富の原因の研究としての人口論と貧の原因の研究としての人口論
高橋誠一郎氏
太田 正孝氏
- 四、財政學の民衆化
尙大會終了後萬來舍にて講師諸氏を招じて晩餐會を開催す、出席者次の如し。
那須、太田、高橋、三邊、金原、伊藤、平井諸氏。並に濱谷(三年)小林、血脇、野村、武井、奥田(二年)久野、塚本、有野、細居、森(二年)諸幹事。